

「生きる力を身につけ、夢を実現する 北栄の子ども」をめざして

～子どもたちの豊かな過ごし方を考える～

平成14年度、国の制度として学校週5日制が実施されてきましたが、近年、土曜日の過ごし方が必ずしも有意義でない（無目的で生活のリズムが乱れている）、授業時間増により子どもたちの負担が増えているなどの理由により、土曜授業が検討されてきました。

そこで本町教育委員会では、子どもたちの土曜日の過ごし方の実態把握、保護者・教職員のアンケート、社会教育関係者や各種スポーツ団体の方々からの聞き取り及び学校・PTA役員との意見交換の内容を踏まえて「子どもたちの豊かな過ごし方」について慎重に議論を重ね、次のような結論に至りました。

＊土曜授業…児童生徒の代休日を設けずに、土曜日を活用して教育課程内の学校教育活動を行うもの

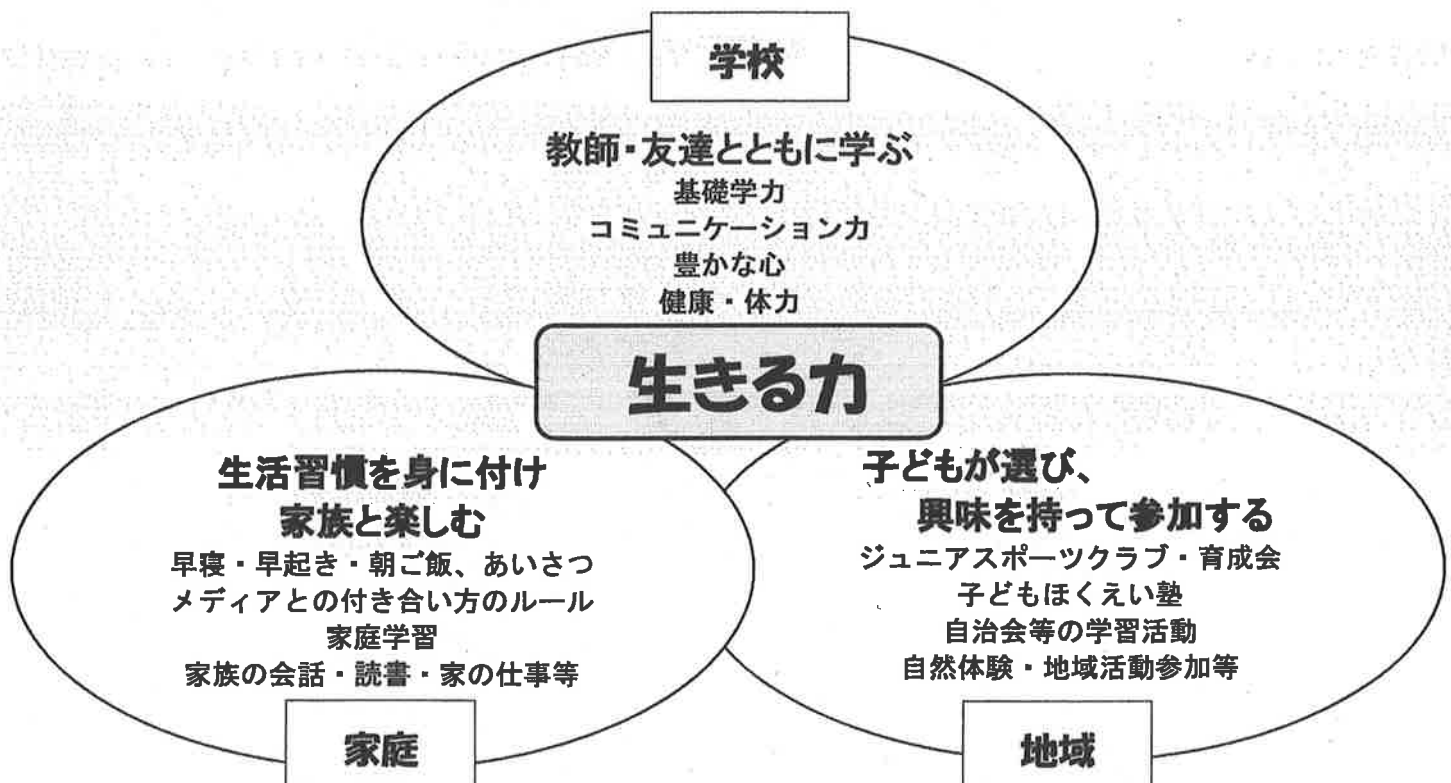
1 学校での土曜授業は行わない。土・日曜日は、家庭・地域で体験を通して学ぶ

＜理由＞学校週5日制が定着している。

北栄町では、「子どもほくえい塾」「ジュニアスポーツクラブ・育成会」などが充実している。
保護者アンケートで61.3%が土曜日を有意義に過ごしていると回答。

2 学校生活にゆとりを持たせ、子どもに確かな力を育てる

- 2週間に1時間、児童生徒と向き合う時間「質問タイム」を作る。
- 「質問タイム」は、一人ひとりの疑問やつまづきを解消する時間とする。
- 「質問タイム」にあてた時間を長期休業日に割り振り、夏休み・冬休みを3日短縮し（1日6時間）、授業日数を増やす。



今後ともより一層、学校・家庭・地域が連携し、役割分担をしながら
町全体で子どもを見守り育てていきましょう！